

京都ヒルクライム

# GUIDE BOOK

□GUIDE BOOK CONTENT

- ・ 京都ヒルクライム概要
- ・ レギュレーション
- ・ 各種案内

2016-06-14・初版

俺のヒルクライム  
運営事務局



MAKE TEES

## 目次

## 【MEMO】

1. オーガナイザー（運営事務局）の連絡先
  - 1.1 運営事務局
  - 1.2 京都ヒルクライム・スペシャルステージHQ
  - 1.3 お問い合わせ先
2. プログラム
  - 2.1 京都ヒルクライム
  - 2.2 京都ヒルクライム・スペシャルステージ
  - 2.3 パレードラン
  - 2.4 京都オートフェスタ
  - 2.5 京都フードトラックフェスタ
3. サービスエリア / パルクフェルメ
  - 3.1 京都ヒルクライム・サービスエリア（パドック）
  - 3.2 京都スペシャルステージ・サービスエリア
  - 3.3 フィニッシュ・パルクフェルメ
4. クレデンシャル及び車両通行証
  - 4.1 クレデンシャル
  - 4.2 車両通行証
5. レッキ（下見）
  - 5.1 レッキ案内
  - 5.2 レッキに関する規則及び指示
6. 車両規定
  - 6.1 京都ヒルクライム車両規定
  - 6.2 安全装備規定
  - 6.3 京都ヒルクライム同乗者規定
  - 6.4 京都ヒルクライム・スペシャルステージ車両規定
  - 6.5 京都ヒルクライム・スペシャルステージ同乗者規定
  - 6.6 その他の共通規定（装備品・ライセンスetc.）
7. エントリー
  - 7.1 タイトル
  - 7.2 パッケージ
  - 7.3 クレデンシャル及び車両通行証、サービス車両等の追加注文
8. 医療及びホスピタリティ
  - 8.1 医療
  - 8.2 ホスピタリティ
9. メディア
  - 9.1 メディア登録の手順と締切
  - 9.2 メディアパスについて
  - 9.3 メディア向け連絡先

【MEMO】

10. 安全サービス
  - 10.1 車両事故について
  - 10.2 事故車両運搬
11. 競技の中断・中止について
12. 宿泊施設について
13. セレモニアルパーティー（前夜祭）について
14. ランチ
15. 喫煙について
16. 公式練習走行
17. トライアル・マッチング・タイム・システム

※このGUIDE BOOKは京都ヒルクライム・エントラント向けの全般的な案内書であると同時に運営上の規則となります。  
しかし、誓約書、各種契約書、特別規則書、公式通知、公式サイトにて規定、改訂された内容を優先します。ご注意ください。

## 1. オーガナイザー（運営事務局）の連絡先

### 1.1 運営事務局

530-0011  
大阪府大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪  
ナレッジキャピタル8階  
株式会社MAKE TEES  
俺のヒルクライム運営事務局

### 1.2 京都ヒルクライム・スペシャルステージHQ

TBA

### 1.3 お問い合わせ先

公式サイトよりお問い合わせください。

## 2. プログラム

### 2.1 京都ヒルクライム

標高差100m以上、多種多様なコーナーなどコースレイアウトを持つ2区間（各1km）を舞台に俺のヒルクライム運営事務局考案の独自ルールに基づき、タイムを競います。  
俺のヒルクライム運営事務局が独自に考案した“トライアル・マッチング・タイム・システム”を採用し、自己予想申告タイムと本番のタイムの差分の大きさにより成績が決定します。  
その差分が小さいほど良いとされ、車両の性能や型式よりも正確無比、高度なドライビングが要求されます。  
その為、ヒストリックカーとレーシングカー、スーパーカーと軽自動車など通常あり得ない異種格闘技戦の実現が可能となりました。  
午前の部、午後の部と2部構成で開催されます。  
公式練習は10月01日（土）に実施致します。

### 2.2 京都ヒルクライム・スペシャルステージ

京都ヒルクライムコースとして用意されている2区間及びその間に存在する通常は徐行区間となるダウンヒル区間、全てを使用した全長3.15kmのスペシャルステージを様々なカテゴリーのレーシングカー、デモカーなどプロフェッショナルによるエキシビジョンとしてデモ走行します。

### 2.3 パレードラン

京都ヒルクライム / 京都ヒルクライム・スペシャルステージを走り終えた車両は車両保管場所である高雄大駐車場へ向かいますが、その際、京都オートフェスタ、京都フードトラックフェスタの開催会場である菖蒲谷池駐車場をパレードランとして徐行しながら通過します。  
京都ヒルクライム観戦エリア外の来場者にも観覧の機会を提供するためです。

## 【MEMO】

○テクニカルコース  
標高差：105m  
距離：1km  
スタート：試橋  
標高：167m  
ゴール：愛宕山展望台  
標高：272m

○フォレストコース  
標高差：80m  
距離：1km  
スタート：愛宕橋  
標高：192m  
ゴール：観空台駐車場  
標高：272m

○スペシャルステージ  
距離：約3.15km  
区間：試橋 - 観空台  
展望台  
\*ダウンヒルあり

## 【MEMO】

- 2.4 京都オートフェスタ  
京都ヒルクライム同時開催の屋外型展示会です。  
展示販売、試乗会などを楽しむことができます。
  - 2.5 京都フードトラックフェスタ  
京都フードトラックフェスタは移動販売車を中心にした  
フードフェスタです。様々な料理を楽しんでください。
3. サービスエリア / パルクフェルメ
    - 3.1 京都ヒルクライム・サービスエリア (パドック)  
小倉山駐車を午前の部、午後の部それぞれに京都ヒルクライム  
出走準備エリアとして開放致します。  
京都ヒルクライム走行終了後の車両は全て高雄大駐車場にて  
保管されます。  
午前の部、午後の部は完全入れ替え制となっておりますので、  
午前の部が終了と同時にサービス車両、スタッフは所定の場所へ  
移動し、午後の部に向けて速やかに入れ替えにご協力ください。
    - 3.2 京都スペシャルステージ・サービスエリア  
小倉山駐車をエキシビジョン走行車両向けに開放致します。  
エキシビジョン走行向けのサービスエリアには午前午後の  
入れ替え制は該当車両のみとし、それ以外の該当車両の入れ替え  
はありません。
    - 3.3 フィニッシュ・パルクフェルメ  
京都ヒルクライム走行終了後の車両は全て高雄大駐車場の  
専用エリアにて保管します。
4. クレデンシャル及び車両通行証
    - 4.1 クレデンシャル  
京都ヒルクライム参加者、サービススタッフ、VIP、その他、  
関係者は運営事務局が発行するクレデンシャルを必ず携行  
しなければなりません。携行なき場合は如何なる理由があろう  
ともその場から退場して頂きます。
    - 4.2 車両通行証  
京都ヒルクライム参加者、関係者、報道機関が使用する車両  
として事前登録した場合に発行する車両通行証です。  
この車両通行証には通行できるエリアが明確に決まっております  
ので、通行許可エリア外は如何なる理由があろうとも通行は  
できません。
5. レッキ (下見)
    - 5.1 レッキ案内  
前日の公式練習日以外の日事前に練習やコースチェックをする  
ことは自由に実施することができます。

## 【MEMO】

## 5.2 レッキに関する規則及び指示

レッキ（下見）は自由を実施することができますが、通常は一般道路であるため、必ず法令遵守の上、走行してください。

## 6. 車両規定

## 6.1 京都ヒルクライム車両規定

- ・車体構造  
一般的な箱車タイプ、フォーミュラカーなど全ての車両タイプを参加対象とします。
- ・エンジン
  - 1) いかなる過給装置の使用も可能とします。
  - 2) 気筒容積の改変はこれを認めます。
  - 3) ジェットエンジン、アフターバーナーシステムの使用は認めません。
- ・タイヤ
  - 1) スペアタイヤ、スペアホイールの搭載は任意です。
  - 2) Sタイヤの使用は可能です。
  - 3) タイヤウォーマーは使用禁止です。  
但し、特段の事情により必要と認められる車両が嘆願書を申請することにより認める場合があります。
- ・排気音量  
京都ヒルクライムに参加する全ての車両はJAF国内競技車両規則第1編レース車両規定、第2章レース車両の排気音量規制に規定された排気音量に適合していなければなりません。
- ・スペアカーの使用  
参加申し込み時の車両以外、使用は認めません。  
但し、運営事務局への嘆願書の提出により、特段の事情を考慮し、別の車両の使用を認める場合があります。

## 6.2 安全装備規定

- ・ヘルメット  
安全基準を満たすヘルメットを必ず着用しなければなりません。  
安全基準を満たす場合はバイク用のヘルメットの使用も認めます。
- ・服装  
長袖、長ズボンを必ず着用しなければなりません。  
運営事務局としては、レーシングスーツ着用を推奨します。  
メカニックウェア（つなぎ）の着用も可能とします。
- ・グローブ  
ドライビング用のグローブを必ず着用しなければなりません。  
運営事務局としては、レーシンググローブを推奨します。
- ・シューズ  
ドライビングに適した靴を必ず着用しなければなりません。  
運営事務局としては、レーシングシューズを推奨します。
- ・シートベルト  
走行中は必ず3点以上のシートベルトを着用しなければなりません。  
標準装備の3点式シートベルトも可能とします。  
運営事務局としては、4点式以上のシートベルトを推奨します。

## 【MEMO】

- ・ ロールバー  
ロールバーは必須ではありません。  
運営事務局としては、ロールバー装着を推奨します。

## 6.3 京都ヒルクライム同乗者規定

同乗走行は同乗体験者による自筆署名入りの誓約書を含む必要な書類、参加料などを提出することにより、これを認めます。  
同乗者は必ずヘルメット、長袖・長ズボンを着用しなければなりません。また3点式以上のシートベルトを乗車中、走行中は着用しなければなりません。運営事務局はヘルメットの他、レーシンググローブ、レーシングシューズ、レーシングスーツ、そして、4点式以上のシートベルトの着用を推奨します。

## 6.4 京都ヒルクライム・スペシャルステージ車両規定

スーパー耐久、GT、全日本ラリー選手権、全日本ジムカーナ選手権、全日本ダートトライアル選手権、各種フォーミュラ選手権など参戦車両のそれぞれのカテゴリのレギュレーションに全て従うものとします。

## 6.5 京都ヒルクライム・スペシャルステージ同乗者規定

運営事務局により事前に認められた企業、チーム等のみ同乗走行体験を実施することができます。  
但し、その際は同乗体験者による自筆署名入りの誓約書を提出して頂きます。  
事前の連絡なしに勝手に実施した場合、実施直前で発覚した場合などは走行そのものを中断し、退場して頂きます。

## 6.6 その他の共通規定（装備品・ライセンスetc.）

- ・ 消火器  
車内携帯型の消火器を必ず1つ装備してください。  
容量、大きさは不問です。
- ・ 牽引フック  
牽引フックは必ず装備してください。但し、金属製の牽引フックでなくても、ベルトタイプの牽引フックでも可能です。  
また車両により、牽引可能な部分を標準装備している場合はその限りではありません。
- ・ 燈火類飛散防止テープ処理  
不要とします。

## 7. エントリー

## 7.1 タイトル

2016 京都ヒルクライム / 2016 KYOTO HILLCLIMB

## 7.2 エントリー

エントリー方法は公式サイトより申込みが可能です。  
募集台数は60台前後としております。  
但しエキシビジョン走行参加台数は除きます。

## 【MEMO】

## 7.3 パッケージ

エントリーパッケージは以下の通りになります。

## ■京都ヒルクライム（一般エンタラント）

- ・競技者パス：1
  - ・サービスクルーパス：2
  - ・サービス車両（積載車除く）：1
  - ・車両通行証：1
  - ・ランチbuffet：1（ドライバーのみ）
  - ・サービスパーク（パドック）スペース：約3.5m×5m  
(但し午前/午後入替制)
  - ・京都ヒルクライムダイジェスト版DVD：1
- \*積載車利用は要別途費用

## ■京都ヒルクライム・スペシャルステージ（プロフェッショナル）

- ・競技者パス：1
- ・サービスクルーパス：4
- ・サービス車両（積載車含む）：2
- ・車両通行証：1
- ・ランチbuffet：1（ドライバーのみ）
- ・サービスパーク（パドック）スペース：約5m×5m  
(該当者のみ午前/午後入替制)
- ・京都ヒルクライムダイジェスト版DVD：1

## 7.4 クレデンシャル及び車両通行証、サービス車両等の追加注文

- ・サービスクルーパス、サービス車両通行証の追加  
(要別途費用)は運営事務局にお問い合わせください。
- ・サービス車両の追加、積載車の利用も要別途費用にて可能です。

## 8. 医療及びホスピタリティ

## 8.1 医療

医師、看護師が待機する緊急時向けの救急室を設けております。但し、応急処置のみとし、必要に応じて、救急病院への搬送対応となります。

## 8.2 ホスピタリティ

ランチbuffetではドリンクバーもご利用できます。場内は全面禁煙ですが、喫煙ポイントも設置しております。

## 9. メディア

## 9.1 メディア登録の手順と締切

全ての報道機関、出版社などによる取材、撮影については公式サイトより事前に登録しなければなりません。またコース内に車両を留め置くことは特段の事情がない限り認めません。必要に応じて、運営事務局にお問い合わせください。

## 9.2 メディアパスについて

取材撮影許可証としてメディアパスを発行致します。



## 【MEMO】

## 9.3 メディア向け連絡先

メディア登録については公式サイトよりお申し込みください。  
またそれ以外のお問合せについては公式サイトのお問い合わせ  
ページよりお問い合わせください。

## 10. 安全サービス

## 10.1 車両事故について

ガードレールの破損については他のサーキットと同様に当日中にご精算をお願い致します。  
その他の施設の破損については別途ご請求致します。

## 10.2 事故車両運搬

事故車両は積載車がないなど必要に応じて、要別途費用にて運営事務局が準備する積載車で搬出することが可能です。

## 11. 競技の中断・中止について

車両事故発生後、適切な事故処理のため、競技は一時的に中断します。但し、その事故内容により、中断ではなく、競技自体が中止となる場合があります。

中止についても、一般エントリー参加部門が中止の場合でも京都ヒルクライム・スペシャルステージは開催する場合があります。不慮の事故により途中で競技自体が中止となっても参加費の返金及びそれに伴う損害補償など一切致しかねます。

## 12. 宿泊施設について

原則、各自で手配をお願い致します。但し、ご希望に応じて要別途手数料にて、ご手配することも可能です。

## 13. セレモニアルパーティー（前夜祭）について

『京都ヒルクライム・プレミア』として京都市内においてゲストハウスを貸し切り、立食式ビュッフェスタイルでシェフによるライブキッチン、美味しい料理を堪能しながらスペシャルゲストによるトークセッション、スポンサー各社のプレゼンを楽しみ、モータースポーツ、自動車を通じた『きずな』を深めるための食事会を開催します。

## 14. ランチ

京都屈指の老舗洋食レストランが織りなすビュッフェランチです。美味しいランチで京都ヒルクライム、走行前、走行後の腹ごしらえです。午前の部の方は走行後、午後の部の方は走行前に利用して頂きます。

## 15. 喫煙について

サービスエリア、コース内、京都オートフェスタ、京都フードトラックフェスタの会場など全て禁煙エリアです。但し喫煙可能ポイントに限り喫煙が可能です。

【MEMO】

16. 公式練習走行

公式練習走行は京都ヒルクライム前日に実施します。  
詳細な時間は公式サイトにて通知するものとします。  
その公式練習走行はコースに対する慣熟走行及び参考タイムを知る一助として開催されますが、但しその参加は絶対ではありません。

17. トライアル・マッチング・タイム・システム

トライアル・マッチング・タイム・システムとは俺のヒルクライム運営事務局が独自に考案したルールです。

このルールにより、同一コースを走行する車両が年式、型式、スペックなど車両のハード面の差を無効化した上で正確無比なドライビングが要求されます。

勝敗はコースそれぞれの自己申告制の予想タイムと本番タイムとの差分の大きさに決定し、その差が小さいほど高評価としています。安全性を最重要視しながら誰でも楽しく、自分の技量に合う走りができます。

通常ではあり得ない様々なカテゴリー、タイプの車両が同一コースで競い合う異種格闘技戦を実現しました。